

An aerial photograph of a river valley. The river flows from the top center towards the bottom right. The valley is filled with a mix of green fields, brownish-yellow harvested fields, and dense green forests. A bridge with a reddish-brown structure crosses the river in the lower right. In the upper left, there is a cluster of buildings and a large industrial-looking structure. The overall scene is a rural landscape with a mix of agriculture and nature.

# 川ビジョンおおいた2021

令和4年3月

大分県土木建築部河川課

## はじめに

近年、全国各地で数十年～数百年に一度と言われるような激しい雨が毎年のように降り、激甚な災害が発生しています。

本県でも、平成29年7月の九州北部豪雨、9月の台風第18号による被災から、復旧・復興を進めている中、令和2年7月豪雨が発生し、筑後川水系や大分川水系で大規模な被害が発生するなど、気候変動に伴う水害の頻発・激甚化の傾向が顕在化しています。

本県の河川整備はこれまで、大きな浸水被害を受けた箇所から河川整備基本方針及び河川整備計画を策定し、河川改修に着手するなど、「再度災害防止対策」を中心に行ってきました。

また、これらに対応するため、国、都道府県、市町村、地域の企業、住民など、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水」への転換が進められています。本県においても、主要な河川の流域ごとに8つのエリアに分け、関係機関からなる「流域治水協議会」を設置し、治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」としてとりまとめ、公表しています。

しかし、県内各地で水害リスクが高まっている中、防災・減災対策をより一層推進するためには、従来の「再度災害防止対策」に加え、想定される水害を防ぎ、軽減させるため、事前にハード・ソフト対策を行う「事前防災対策」にも取り組んでいく必要があります。

こうした状況を踏まえ、河川管理者が行う治水対策の充実・強化を図るため、県全体を対象とした河川整備における長期計画を「川ビジョン おおいた2021」として策定することにしました。

# 川ビジョンおおいた2021

## 目次

第1章 大分県の概要	1
1 地勢	1
2 気象	2
(1) 気候	2
(2) 降雨状況	3
(3) 大分県における気候変動	4
3 近年の主要出水による浸水被害状況	6
(1) 平成24年7月九州北部豪雨	6
(2) 平成29年7月九州北部豪雨	8
(3) 平成29年台風第18号	9
(4) 令和2年7月豪雨	10
第2章 大分県における治水対策の現状	11
1 河川整備やダム建設の現状	11
(1) 河川の概要	11
(2) 河川整備の基本理念	12
(3) 河川整備の現状	13
(4) 河川整備基本方針・河川整備計画の策定状況	17
(5) 治水ダムの現状	19
2 気候変動等に対する取り組み状況	20
(1) 大規模氾濫減災協議会	20
(2) 流域治水プロジェクト	22
(3) 確率降雨強度の見直し	24

<b>第3章</b>	<b>治水計画の方向性</b>	<b>27</b>
1	計画策定の背景	27
2	計画の位置付け	27
3	計画の基本的な考え方	28
(1)	策定方針	28
(2)	策定単位	28
(3)	対象期間	29
(4)	河川整備の優先度	29
(5)	河川整備の段階的な進め方	29
(6)	河川整備の内容	30
<b>第4章</b>	<b>流域及び地区毎の整備目標</b>	<b>35</b>
1	山国川流域	35
2	大分川・大野川流域	39
3	番匠川・五ヶ瀬川流域	45
4	筑後川流域	49
5	北部地区（中津市・宇佐市・豊後高田市）	53
6	東部地区（国東市・杵築市・日出町・別府市）	57
7	中部地区（臼杵市・津久見市）	61
<b>第5章</b>	<b>河川の維持管理</b>	<b>65</b>
1	河川維持管理計画	65
(1)	河川維持管理の目的	65
(2)	河川の区間区分	65
(3)	維持管理目標の設定	66
(4)	維持管理計画における実施方策	67
(5)	堤防点検	68
2	長寿命化計画	68